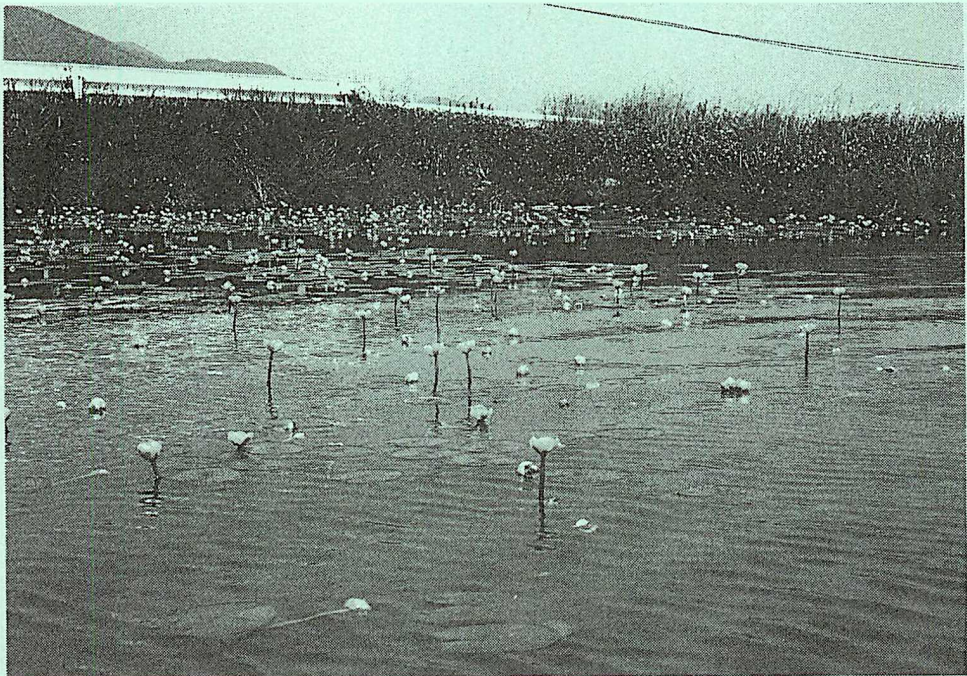


ISSN 0288-139X

# 水草研究会会報

58号(1996年8月)



Bulletin of Water Plant Society, Japan

No. 58 (Aug. 1996)

水草研究会

目 次

矢川水質調査会：矢川における水生植物の年間変化と分布状況 ..... 1

高田 順：ホシクサ属数種の種子形態 (1) .....18

橋本卓三：千塚池オニバス群落のその後 .....25

藤井伸二：マルバノサワトウガラシ滋賀県朽木村で見つかる .....27

藤井伸二：大阪府にイセウキヤガラが生育していた！ .....28

短 報

星 一 彰：福島県猪苗代湖のミズスギゴケ .....26

〔表紙写真〕

オグラコウホネ群落の開花（広島県，1996年6月）

オグラコウホネはレッドデータブックにリストアップされた種で、コウホネ属の中では東海型ヒメコウホネと並んでもっとも絶滅が危惧される種である。今年は、オグラコウホネを求めて各地を走り回った。近畿地方では私の知っていた産地のいくつかが消滅し、残った産地も少数をのぞききわめて危ない状況である。四国と九州は予想していたよりも良好な状態であったが産地は限られる。広島県はすべてベニオグラコウホネかと思っていて、ふつうのオグラコウホネが産することは今年まで知らなかった。拙著『日本水草図鑑』の分布図にプロットがないのもそのためである。下田路子さんに教えていただいて広島へ足を伸ばしたのが6月のこと。まだ各所にひっそりと残っていることを確認できた。この写真はそのときに撮影したものである。オグラコウホネに「九州・広島型」と「兵庫型」が存在することが村山恵子さんの研究で明らかになり、今年の水草研究会全国集会で発表した。ご覧のとおり「九州・広島型」は花も果実も大きい。満開の様子は壮観であった。

写真と文 角 野 康 郎